

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	医科請求事務	
担当教員の実務経験	病院にて医療事務業務に従事経験有	
対象学生	医療福祉ビジネス科1年生 医療福祉ビジネス科2年生	
授業時間数・単位数	120コマ	・ 8単位
授業方法	講義 [○] ・ 演習 [○] ・ 実習 []	
授業の概要	医療保険の基礎を学んだ上で、初診から入院までのレセプト作成の演習を行いながら「実務においては」の事例を交え、机上の勉強のみに留まらないよう学習する	
授業の到達目標	11月実施の医療事務管理士の合格を目指す	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	ソラストテキスト一式、点数表、基本法令テキストブック	
授業上の注意点	保険請求においては都度確認を行い学習すること	
授業計画（内容）		コマ数
授業内容の説明（検定に向かう心構え含む）		1
レセプト記入時の上書き→初再診	講義演習→確認プリント	10
医学管理～在宅医療	講義演習→確認プリント	10
確認テストおよび小テスト	解説	2
投薬～注射	講義演習→確認プリント	15
処置～検査	講義演習→確認プリント	15
確認テストおよび小テスト	解説	2
ギプス～手術・麻酔～病理	講義演習→確認プリント	15
入院		15
まとめの試験	解説	2
検定試験対策（レセプト演習および学科対策）		20
補習		13
合計		120
授業単位数		8

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	福祉概論	
担当教員の実務経験	通所介護事業所勤務介護員経験	
対象学生	医療福祉ビジネス科1年生 医療福祉ビジネス科2年生	
授業時間数・単位数	15 コマ	1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	社会福祉の現代的意義及び歴史的変遷を理解するとともに、特に高齢者福祉場面での社会福祉の意義と介護保険法等制度理解を促進させる。	
授業の到達目標	社会福祉の歴史的変遷の概要を理解できる。また、介護保険制度について概要を理解し、活用場面を想像できる。	
成績評価方法と基準	出席15%、レポート課題の達成度80%、授業態度5%を、学則に定める成績評価の基準に従い評価	
準備学習・時間外学習	各コマ資料末に記す穴埋め問題の学習を通じた知識の習得	
使用教科書・教材・参考書	「国民の福祉と介護の動向」一般財団法人厚生労働統計協会 「厚生労働省HP 介護関連」	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	1. 介護保険制度制定の経緯（制度創設前の老人福祉・老人医療政策の経緯）・問題点	1コマ
	2. 介護保険制度の基本的な考え方	1コマ
	3. 介護保険制度の仕組み①（保険者・被保険者、各機関等の役割）	1コマ
	4. 介護保険制度の仕組み②（要介護認定からサービス認定までの流れ）	1コマ
	5. 介護保険サービス①（訪問系サービス、通所系サービス）	1コマ
	6. 介護保険サービス②（短期滞在系サービス、居住系サービス、入所系サービス）	1コマ
	7. 介護予防サービス	1コマ
	8. 地域包括ケアシステム（地域包括支援センターを中心とした業務）	1コマ
	9. 成年後見制度及び日常生活支援事業	1コマ
	10. 介護報酬請求の流れ（国民健康保険団体連合会の役割）	1コマ
	12. 高齢社会の現状と課題	1コマ
	13. 社会福祉の歴史	1コマ
	14. 社会福祉の援助方法	1コマ
	15. まとめ	1コマ
	合計	15コマ
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	薬学一般	
担当教員の実務経験	看護師、病院や福祉施設で従事経験あり	
対象学生	医療福祉ビジネス科2年生	
授業時間数・単位数	30コマ	2単位
授業方法	講義 [O] ・ 演習 [] ・ 実習 []	
授業の概要	薬を取り巻く環境を理解する	
授業の到達目標	薬の効果を理解し介護する立場になった際に服薬事故を防ぐとともに、薬の効果を最大限に発揮し、副作用を防ぐための理解、知識を得る。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	介護者が知っておきたい薬のはたらきとつかいかた	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	高齢者と薬・介護者と薬	2
	先発医薬品と後発医薬品	2
	セルフメディケーションの提唱	2
	高齢者の服薬状況	2
	薬の成り立ちと効果	2
	吸収と剤形	2
	高齢者の服薬の特徴	2
	薬の上手な使い方と手順	2
	薬の飲み忘れ	2
	薬の副作用	2
	疾病と症状から見る薬の効果と注意事項	2
	症状から見る薬の副作用	2
	多職種との連携	2
	服薬に関するQ&A	2
	期末テスト・解説	2
	合計	30
	授業単位数	2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	コミュニケーション	
対象学生	医療福祉ビジネス科2年	
授業時間数・単位数	30コマ	2 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	「書く力」、「話す力」では、適切な言葉とその使い方について学ぶ。「伝える力」では、それをふまえて相手に説明したり説得したりするための言葉づかいや方法について学ぶ。毎回1分間スピーチを行う。	
授業の到達目標	相手と場にふさわしい「使える日本語」を身に付ける	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	日本語表現&コミュニケーション	
授業上の注意点		
	授業計画（内容）	コマ数
	漢字かな交じり文について	1
	句読点の働き	1
	和語・漢語・外来語の使い分け	2
	言葉のグループについて考える	1
	書いた文の推敲について	1
	別の言い方を考える	1
	改まった表現について	1
	手紙の基本の書き方について	1
	手書きの手紙を書く	2
	確認テストと解説	1
	挨拶の役割	1
	場面に合わせた自己紹介を考える	2
	改まった話し方とは	1
	敬語の役割について	1
	敬語の活用について	1
	確認テストと解説	1
	話を聞くととは	2
	わかりやすく伝えるには	2
	説明・定義する方法	2
	根拠と出典について	2
	表やグラフを読み解く	2
	確認問題と解説 全体の振り返り まとめスピーチ	1
	合計	30
	授業単位数	2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ビジネスマナーと文章技法	
対象学生	総合ビジネス科2年、医療福祉ビジネス科2年、ビジネス専攻科1年	
授業時間数・単位数	14コマ・1単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	「常識ある社会人」「常識ある職業人」となるための知識を身に付け、次の項目について実践できるようになることを目標とします。(1) 社会や職場のルール理解と適用(2) 社会人としての最低限のビジネスマナーの習得(3) 基本的な電話対応と来客対応マナーの習得	
授業の到達目標	「常識ある社会人」「常識ある職業人」となるための知識と実践力の習得を目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とし、講義の最終回に実施する試験と平常点によって評価します。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	表現技法 ビジネスマナーと文章技法 第4版 (S C C)	
授業上の注意点		
授業計画 (内容)		コマ数
コミュニケーション力を高めるために		1
お辞儀、敬語の基礎		1
敬語の実践		1
職場のマナー		1
執務上のマナー		1
電話の受け方		1
電話のかけ方		1
電話対応の応用、名刺交換		1
来客対応、客先訪問		1
席次		1
ビジネスシーンの「話す」と「書く」		1
ビジネスメールの基礎知識		1
身だしなみ		1
科目試験		1
合計		14
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	プレゼンテーション実習	
対象学生	医療福祉ビジネス科	
授業時間数・単位数	15コマ	1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	プレゼンテーションとは何か、どのように行うかを通してわかりやすく伝わりやすいプレゼンテーションを実習を交えて学ぶ	
授業の到達目標	PowerPointを使用してわかりやすく伝わりやすいプレゼンテーションができる	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点	1年次Powerpointの基本操作が習得していること	
	授業計画（内容）	コマ数
	プレゼンテーションの重要性、種類	1
	プレゼンテーションの概要、活用	1
	ストーリーづくり、情報収集	1
	ストーリーの完成、視覚化のポイント	1
	配布資料の特徴と使い方	1
	プレゼンテーションの流れ、概要説明	1
	聞き手の態度、質問の仕方、話し手の表現力	1
	プレゼンテーション進行、リハーサルによる確認	1
	実習 第1回 プレゼンテーション資料作成、リハーサル	2
	実習 第1回 プレゼンテーション実施 自己評価	1
	グループプレゼンテーションについて、役割分担	1
	実習 第2回 プレゼンテーション資料作成（グループプレゼンテーション）、リハーサル	2
	実習 第2回 プレゼンテーション実施 自己評価 総評	1
	合計	15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	販売士Ⅱ	
対象学生	総合ビジネス科2年、医療福祉ビジネス科2年、経営情報科、システム科2年	
授業時間数・単位数	45コマ	3単位
授業方法	講義 [○] ・ 演習 [] ・ 実習 []	
授業の概要	小売業についての店舗形態、マーチャンダイジング、店舗実務、マーケティング、小売に関する法制度を理解し、リテールマーケティング検定2級の合格を目指す	
授業の到達目標	リテールマーケティング検定2級の合格を目指す	
成績評価方法と基準	出席と授業態度、小テスト結果、検定試験結果を総合的に評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	販売士養成講習会2級テキスト	
授業上の注意点	提出課題は期限を守る	
	授業計画（内容）	コマ数
	流通と小売業の役割	2
	組織形態別小売業の運営特性	2
	店舗形態別小売業の運営特性	2
	マーチャンダイジングの戦略的展開	1
	商品計画の戦略的立案、販売計画の戦略的立案	1
	仕入計画の策定と仕入活動の戦略的展開、販売政策の戦力的展開	2
	商品管理政策の戦力的展開	1
	物流政策の戦力的展開	1
	小テスト	1
	店舗運営サイクルの実践と管理	1
	戦略的ディスプレイの実施方法	2
	作業割り当ての基本、レイバースケジューリングプログラムの役割としくみ	2
	人的販売の実践と管理	1
	リテールマーケティング戦略の考え方	1
	リテールマーケティングの展開に必要な商圈分析と出店戦略の実践	2
	マーケットリサーチの方法と進め方	2
	リテールマーケティングの展開に必要なリージョナルプロモーションの実践	1
	販売管理者の法令知識	2
	小売店経営における計数管理と計算実務	1
	販売活動に求められる決済データと経営分析、小売業における組織の基本原則と従業員管理	2
	店舗施設の維持管理	1
	予備試験	2
	試験対策	12
	合計	45
	授業単位数	3

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	アプリケーション演習Ⅱ	
対象学生	医療福祉ビジネス科2年	
授業時間数・単位数	105コマ	7単位
授業方法	講義 [] ・ 演習 [○] ・ 実習 []	
授業の概要	オフィスソフトを用いて、Word、Excelの資格取得を目指す。	
授業の到達目標	日商PC検定文書作成、データ活用、各3級の取得。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	日商PC検定文書作成、データ活用各3級2016対応テキスト 各3級	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
・ 日商PC検定文書作成3級		
テキスト演習		10
確認問題		5
模擬試験、試験対策		15
ドリル演習		10
検定試験		1
・ 日商PC検定データ活用3級		
テキスト演習		10
確認問題		5
模擬試験、試験対策		18
ドリル演習		10
検定試験		1
・ 終了課題		
演習・絵本作成		20
合計		105
授業単位数		7

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	マーケティング実習	
対象学生	総合ビジネス科2年 医療福祉ビジネス科2年	
授業時間数・単位数	15コマ	・ 1単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	マーケティング活動である、市場調査や販売促進計画、商品企画を実習を通し習得する	
授業の到達目標	マーケティング活動内容を実習を通し、即戦力となる技術を身につける	
成績評価方法と基準	出席と授業態度、課題提出を総合的に評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	色彩検定、販売士養成講習会テキストより	
授業上の注意点	提出課題は期限を守る	
	授業計画（内容）	コマ数
販売促進	講義	1
販売促進	実習	1
店舗形態	講義	1
店舗形態	実習	1
市場調査	講義	1
市場調査	実習	1
ディスカッション	講義	1
ディスカッション	実習	1
商品企画	講義	1
商品企画	実習	2
プレゼン	講義	1
プレゼン	実習	1
情報分析	講義	1
情報分析	実習	1
	合計	15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	就職対策Ⅱ	
対象学生	医療福祉ビジネス科2年	
授業時間数・単位数	15コマ	1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	就職試験の準備、心がけ、立ち居振る舞いを学ぶ	
授業の到達目標	希望する就職先の内定を獲得することができる	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	就職対策	
授業上の注意点	1年次就職実務Ⅰが修了していること	
	授業計画（内容）	コマ数
	履歴書作成 講義と実習、企業研究	1
	履歴書作成実習、企業研究	1
	エントリーシート作成、筆記試験対策	1
	グループディスカッション ～過去事例より～	3
	グループワーク ～過去事例より～	2
	面接 講義と実習	2
	作文練習 ～過去事例より～	2
	模擬面接、筆記試験対策	3
	合計	15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	就職対策Ⅱ	
対象学生	医療福祉ビジネス科2年	
授業時間数・単位数	15コマ	1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	就職試験の準備、心がけ、立ち居振る舞いを学ぶ	
授業の到達目標	希望する就職先の内定を獲得することができる	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	就職対策	
授業上の注意点	1年次就職実務Ⅰが修了していること	
	授業計画（内容）	コマ数
	履歴書作成 講義と実習、企業研究	1
	履歴書作成実習、企業研究	1
	エントリーシート作成、筆記試験対策	1
	グループディスカッション ～過去事例より～	3
	グループワーク ～過去事例より～	2
	面接 講義と実習	2
	作文練習 ～過去事例より～	2
	模擬面接、筆記試験対策	3
	合計	15
	授業単位数	1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	販売実務	
対象学生	総合ビジネス科、医療福祉ビジネス科2年	
授業時間数・単位数	15コマ	1 単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	ディスプレイ実習、ラッピング実習、POP制作実習を通して身に付ける	
授業の到達目標	技能・技術を身につけ、実務で活かすことができる	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点	販売士3級、色彩学が修了していること	
	授業計画（内容）	コマ数
	ディスプレイについて	1
	実習 ディスプレイグループワーク 準備	1
	実習 ディスプレイグループワーク 実践とプレゼンテーション 評価	1
	実習 ディスプレイグループワーク 準備	1
	実習 ディスプレイグループワーク 実践とプレゼンテーション 評価	1
	ラッピング技法1について	1
	実習 ラッピング技法1	1
	ラッピング技法2について	1
	実習 ラッピング技法	1
	ラッピング確認テスト	1
	POP制作講義	1
	実習 POP制作	1
	実習 POP制作	1
	実習 POP制作	1
	POP プレゼンテーション 総評	1
	合計	15
	授業単位数	1